

# CP オール (CPALLn)

2018年は95-100億 THB の設備投資を計画、2021年までにセブンイレブン 13,000 店舗を目指す！

フィリップ証券株式会社

## タイ | 小売 | 業績レビュー

BLOOMBERG CPALL:TB | REUTERS CPALL.BK

- 2017/12 通期は、売上高が前同期比 8.4%増の 4,710.69 億 THB、EBIT が同 10.2%増の 314.99、当期利益が同 19.4%増の 199.07 億 THB。
- 新規出店の増加や堅調な既存店売上高の成長などが寄与したほか、大型格安店の連結子会社「サイアム・マクロ」も好調だった。利益率の高い商品群の販売が伸び、利益率も改善。
- 2018/12 通期の市場予想は売上高が前期比 10.9%増の 5,224.60 億 THB、当期利益が同 16.2%増の 231.34 億 THB である。2018/12 期には 95-100 億 THB の設備投資を計画している。

### What is the news?

2017/12 通期は、売上高が前同期比 8.4%増の 4,710.69 億 THB、EBIT が同 10.2%増の 314.99、当期利益が同 19.4%増の 199.07 億 THB となった。新規出店の増加や堅調な既存店売上高の成長などにより増収。商品戦略の変更により、RTE 食品、健康・美容製品、生鮮食品などの利益率の高い製品の販売が伸び、売上高総利益率は 22.3%と前期の 21.9%から改善した。また、タイで大型格安店「マクロ」を 100 店超展開する連結子会社「サイアム・マクロ」も増収増益となり、全体の業績に貢献した。その他、借り換えによる金融費用の減少や、2016-2017 年の資本支出に対する税制優遇措置による税金費用の減少なども寄与した。

2017/12 末時点で店舗数は 10,268 店舗と 2016/12 末時点より 726 店舗となった。直営店舗が 4,530 店舗と同 325 店舗増、フランチャイズ店舗は同 372 店舗増の 5,017 店舗、サブライセンス店舗は 29 店舗増の 721 店舗と、引き続き店舗網が拡大。2017/12 通期の既存店売上高は、前期比 1.6%増となった。1 店舗あたり 1 日平均来店客数は同 2.6%減の 1,184 人となった一方、顧客単価は 67THB と前期の 65THB から上昇したことや、店舗あたりの平均日販が 79,786THB と前年同期の 78,706THB と増加したことが寄与した。「サイアム・マクロ」は、売上高が前期比 8.1%増の 1,867.54 億 THB、純利益が同 14.2%増の 61.78 億 THB と好調だった。12 月にはカンボジアに海外 1 号店を開くなど海外展開を加速している。

### How do we view this?

同社は、2018/12 期は 95-100 億 THB の設備投資を計画している。新規出店に 36-38 億 THB、既存店の改装に 20-21 億 THB、新規プロジェクト・子会社への投資に 31-32 億 THB、固定資産・IT システムへの投資に 8-9 億 THB を、それぞれ支出する計画だ。2018 年も引き続き約 700 店の出店を計画しており、2021 年までにタイ国内でセブンイレブンの店舗数 13,000 店を目指している。2018/12 通期の市場予想は売上高が前期比 10.9%増の 5,224.60 億 THB、当期利益が同 16.2%増の 231.34 億 THB である。

### 業績推移

※参考レート 1THB=3.39円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
売上高(百万THB)	391,817	434,711	471,069	522,460	574,055
純利益(百万THB)	13,682	16,676	19,907	23,134	27,189
EPS (THB)	1.52	1.85	2.22	2.56	3.01
PER (倍)	55.43	45.54	37.95	32.91	27.99
BPS (THB)	4.16	6.14	8.39	8.64	10.27
PBR (倍)	20.25	13.72	10.04	9.75	8.20
配当 (THB)	0.90	1.00	1.10	1.30	1.51
配当利回り (%)	1.07	1.19	1.31	1.54	1.79

(出所: 会社公表資料をやBloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

予想配当 (THB)	1.30	(予想はBloomberg)
終値 (THB)	84.25	2018/2/22

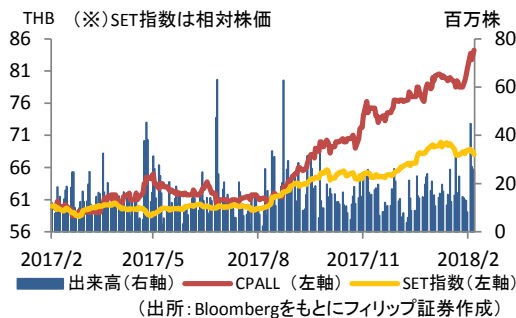
### 会社概要

1988年にタイ最大のコングロマリットであるチャロン・ボカパングループにより設立。タイ唯一のセブンイレブン運営事業者。1989年に米国のセブンイレブンからエリアライセンス契約を締結し、タイ初のセブンイレブン店舗がバンコクのパッポン通りにオープンした。

2016年末時点で、全国9,542店舗展開。バンコク周辺には4,245店舗、地方には5,297店舗があり、PTTガソリンスタンド内などにも出店している。その内、4,205店舗が直営店舗で、4,645店舗がフランチャイズ店舗、692店舗がサブライセンス店舗である。1日あたり平均来店客数は1,170万人にのぼる。タイの人々のための便利な食料品店であり続けるという戦略のもと、新鮮さや清潔さ、安全性を備えたRTE食品(レディートゥイートフード)の提供を重視している。コンビニエンスストアの他、子会社を通じてコンビニ関連ビジネス、金融、教育、情報サービスなどの事業も行っている。

### 企業データ (2018/2/23)

ベータ値	1.03
時価総額(百万THB)	752,335
企業価値=EV(百万THB)	894,005
3か月平均売買代金(百万THB)	1,244



### 主要株主 (2018/2)

1. CP Merchandising	31.33 (%)
2. Stock Exchange of Thailand	7.09
3. State Street	3.87

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### アナリスト

増淵 透吾  
 togo.masubuchi@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707  
 庵原 浩樹  
 hiroki.ihara@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。